

# 市議会 だより

city  
assembly  
report

Vol. 9

### おもな内容

- 新春対談 ————— 2～5
- 議案審議 ————— 6～7
- 委員会報告 ————— 8～10
- 質問一覧表 ————— 11
- 各会派による代表質問 —12～13
- 一般質問 (13名が問う) —14～18
- 特別委員会等の動き —19～20
- 市民フォーラム ————— 21
- くつろぎこうか [シリーズVol.5] —22



新校舎は木の香りとぬくもりが…。  
真新しい学校で授業もはずむ  
(貴生川小学校)

議会に関する詳しい情報は、甲賀市のホームページ <http://www.city.koka.shiga.jp> の市議会だよりの中で議事録を検索することができます。また各支所および各図書館でも会議録の閲覧ができます。



議長 服部 治男

あすの甲賀市... 大いに語る

# 新春 対談

2007年の幕開けにあたり、明日の甲賀市について、中嶋武嗣市長と服部治男議長が大いに語り合いました。



市長 中嶋 武嗣

**新** 年を迎えて、今年にかけるお二人の夢や決意を語っていただきたいと思えます。「あすの甲賀市、大いに語る」議長から口火を…(編集部)

**議長** 市長就任3年目を迎えられる、いよいよ手腕発揮、中嶋カラーを表に出していただいて、市政に取り組んでいただきたいという、議会の思いですけど、19年度に向けての思いというものを聞かせて下さい。

**市長** 私の就任した時は、人口9万5500人でしたが、3年目を迎えて9万5800人と300人も増えました。これは、新しい甲賀市がいよいよ始動し始めたという実感を感じているところです。財政難、行財政改革という名のもと、いろんな改革が進められていますが、私は常々「不易流行」ということを申しております。捨てちゃならないもの、残しておかなければならないものを見き分け、市民のためにしっかりとした施策をもって臨んでいきたいと思っています。

**議長** 市長の思いが、ひしひしと我々議会にも伝わってきます。ところで昨年は、改革

## 市長「不易流行」の施策を

## 議長「温故知新」の精神で

### 人が集まり人が交流するまちづくり

**議長** いよいよ来年の3月には第二名神が供用され、新しい甲賀の幕明けとなりますね。今後のまちづくりに大きな希望を持っています。今年発表されます「都市計画マスタープラン」について、市長の信念を聞かせてください。

**市長** 昨年3月に、市内の2000人の方、そして700人の中

学生にアンケート調査をお願いしました。その中で、旧各町ごとに格差があつてはならない。すべてのものが充足できるようになまちづくりを進めてほしいという声がたくさんありました。さまざまな面から、求心力のあ

元年というところで行政改革推進計画が策定されたわけですが、これを実践するためには、市民の皆さんに甲賀市の実情を十分に理解していただく方が必要と考えますが、その点市長はどんなお考えを…

**市長** 議員の皆さん方は、市民から選ばれた代表です。我々執行部と、ほどの良い緊張関係であつて然るべきです。よく例えられます車の両輪になって、力を合わせて、このまちをどうしていくんだ、我が市のためにやるうじやないかという意気込みを感じさせるような議会活動にしていたらと思つていきます。あれもこれもじゃなく、1点に絞つて…これにより市民の方も、現在の状況、将来取り組むべき方策への理解をしていただけたらと思います。

**議長** やはり議員としても、皆様に対して十分なる説明をしていく責任があると思つていきます。議会と執行部が手を携えて、この財政厳しい中を乗り切つて行きたいですね。

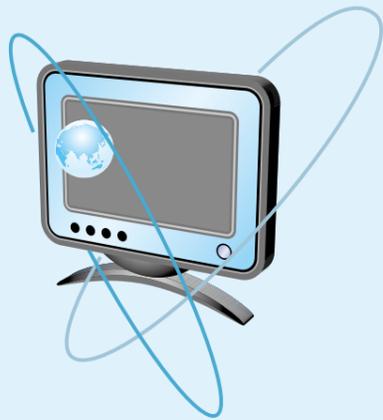
**市長** 市民が、明るく、元気に前向きに取り組んでいくような市政の実現だけはいつも心がけていきます。

るまちづくりを期待しておられます。今回の都市計画マスタープランについても、このよなまちづくりを進めていかないと、対応し難いものが出てくるのではと危惧しています。  
**議長** 陸路としての第二名神が平成の大事業として出来あがりまして、次は鉄道の利便性と乗車率の向上ですね。  
**市長** 草津線の複線化問題、更には信楽高原鐵道とリンクさせての京阪奈線の促進など、社会的にインフラ整備も含めた中で、総合的な計画に基づいたマスタープランを作つていきたいと思っております。

**議長** 昨年、嘉田知事にお会いして、滋賀県の東南部を縦断する名神名阪連絡道の位置付けと推進を陳情要望した時、知事も最重要視していただいており、県をあげて促進していくという固い決意もお聞かせいただきました。議会としても今後も陳情活動を続け、今年に更に一歩前進したい思っています。

名神名阪連絡道ができ、びわこ京阪奈線で大阪へ直接乗り入れができる。また大阪から甲賀へたくさんの方が来ていただける。甲賀市としては前途洋々とした希望がありますね。





今、テレビにおいては地上デジタル化、安全・安心のための情報整備として、防災や学校、地域情報の配信が必要とされています。

地域間の情報格差を是正し、市民の誰もが等しく、いつでも、どこでも情報が得られるよう、地域情報通信基盤の整備について、総務常任委員会で、これまで検討・勉強・視察が行われてきました。

甲賀市地域情報化策定の概要が明確になってきたことに伴い、整備費用も多額なことから、議会においても、より詳細な検討が必要なことから、15名の委員を選出し、地域情報化推進特別委員会が設置されました。

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 辻重治   |
| 副委員長 | 友廣勇   |
| 委員   | 山岡光広  |
|      | 山藤定男  |
|      | 山田善太郎 |
|      | 土村山和  |
|      | 石川藤庄  |
|      | 加藤山直  |
|      | 村安井坂  |
|      | 白岩田孝  |
|      | 葛橋原章  |
|      | 山本律宏  |
|      | 山本宏治  |

## 甲賀市地域情報化推進特別委員会



**市長** 市民と議会がともに考えるためには、議会

**市長** 報提供が一番大事ですからね。

**市長** 今回、このような企画を「議会だより」でしていただけて嬉しい限りです。編集もすべて議員の手でやっておられるという事は他市への自慢にもなります。市政も当然ですが、議会

**市長** 心意気が嬉しいです。さて、最後に地方自治の原点は、やはり地方の自治から起こる民主主義の学校はここだというそんな思いをしています。職員には、市民あつての市役所であり、市内最大のサービスマスターは市役所だと言っています。みんなが力を合わせ、共に汗をかいて、

がどのような活動・動きをしているのかを知っていたくことが大切だと思っています。最近では、甲賀ケーブルネットワークやインターネットでの議会中継・録画等の議会放送を家庭でも見ることができ、市政への関心も高まりましたが、議会広報の情報は、活字として提供することによって、次々と消える映像と違い、いつまでも手元に残ります。これは議会の活性化にもつながります。

## 対

いいまちを作りましょう。  
**議長** 生まれてよかった甲賀市、住んでよかった甲賀市は勿論、住みに行きたい甲賀市をめざして…。  
談お疲れさまでした。お二人の熱き思いを聞かせていただき、新しい息吹きが伝わってきました。今年もがんばります。(編集部)



**市長** 私どもの地域は、奈良時代から「近江の国は宙の下に地広くして国富

む、そして人多く集まる」といわれるように、私はまさに、この夢づくりこそ、まちづくりであり、より魅力と活力のある甲賀にできるそんな思いを抱いております。歴史・伝統・文化に支えられた地域でありますし、環境・健康福祉・教育の3K、プラス2K、観光・交流の時代です。人が多く集まり、多くの人が行き交うことによって、新しい文化が根づき育つてくると確信しています。

## 夢は「市民体育館」

**議長** 文化・スポーツ面でも、今年は市民ホールの改修、また昨年は市民スタジアムと多目的グラウンドも完成し、全国レベルの選手が集う大会も開かれ、市内の小中学生や高校生などの活躍も全国レベルに近づき、嬉しい限りですね。  
**市長** 市民の皆さんのエネルギーや郷土愛を肌で感じ、甲賀の地は「文武両道」。いわゆるスポーツにも強い、そして学習能力の高い地域だと思っておりますし、まさにその通りだと思っ



お互い、ほどよい緊張感がいいですね

得て進めさせていただいています。残るは市民が一堂に会してできる屋内競技場、いわゆる市民体育館の建設です。財政的課題を克服し、当市にふさわしい施設を整備し、市民皆さんのご

## 4年間の任期を お互いフルに活用しましょう

**議長** 古いことわざに「温故知新」という言葉があります。先人の皆さんが、つい最近の古さを、それぞれの町の思いとして、それぞれの町の政に取り組んで来られました。その言葉でいい表せない大切なもの、それを継承していくのも私たちの役目です。いつも心の中でつぶやきながら、「生まれてよかった甲賀市」「住んで良かった甲賀市」「住みに行きたい甲賀市」を目標そうではありませんか。それでは市長、最後に議会に対する市長のご要望を…。

**市長** 市長も市議会議員も民意の下で選んでいただいています。市民の負託にこたえていくためには、執行する立場と、それをチェックする立場でお互いに議論を深めることが大切です。また、議会には提案権もありますので、当市発展のための条例提案なども行うなど活発な活動を行っていただき、お互いが4年間という与えられた任期のなかで精一杯頑張っていければ良いと思います。

**議長** 市長は県会議員も経験されておられますので、さすが議員たるものはどうあるべきか鮮明ですね。議員もより一層勉強の必要があります。

要望にお応えしたいという夢を持っています。

委員会報告

総務常任委員会

市行政推進の中核を担っている委員会です



富山市で研修を受ける委員
・富山県富山市
・10月19日～20日
◎視察先

・岐阜県関市
◎目的
・ケーブルテレビと有線電話の活用について研修(富山市八尾センター)
・合併後における総合計画の策定状況及び情報通信システムの概要について研修(関市役所)
◎感想
・ケーブルテレビの設立経過やサービス面など、加入状況について説明を受け、施設内の放送設備



システム構築のための勉強会
この条例は、市民と行政による協働のまちづくりを資するため、職員倫理保持及び法令遵守の推進体制の整備を図ることにより、市の行政運営における適正を確保するとともに、市民の利益を保護し、信頼される市政を確立することを目的に制定されるものであります。
不当な要求(主に外部から)や公益通報(内部からの告発)の二つが組み合わせてつくられました。本条例は、県下でも先進的な取組みとしての条例制定であります。
これによって、職員の資質向上はもとより、不当要求行為に対して



地域情報化の方向性を検討
(勉強会など13回実施)

主な検討課題と視察
・地域情報化の現状と情報化計画策定概要
・他市、事例についての勉強会
・近江八幡市ケーブルテレビの視察
・松阪ケーブルテレビの研究視察
・情報化の課題、整理、目標
・情報化計画策定の進捗
状況ならびにアンケート結果
・地域情報化計画書(案)について
・地域情報通信基盤の構築について
(情報一元化と方向性について)
甲賀市、地域情報通信基盤の構築に向けた視察研修
総務常任委員会では、地域間の情報格差を是正し、市民の誰もが等しく、いつでも、どこでも、情報の受発信ができる情報の一元化に向けた地域情報通信基盤整備の必要性から先進地を視察。



情報通信システムの説明を受ける
等を見学する。
「質問」では、公設公営であり、設備費用について多額なことから、議会での意見はどうであったか、に対して20億円かけて整備することの必要性について議論があった。また、関市においては合併後、関市以外のこと、高齢化の進展、人口の減少が問題となり採算性を考慮すると合併特例債でケーブルテレビをという件については難しい。とのことであった。

付託議案
(条例)

「甲賀市法令遵守の推進条例の制定について」

この条例は、市民と行政による協働のまちづくりを資するため、職員倫理保持及び法令遵守の推進体制の整備を図ることにより、市の行政運営における適正を確保するとともに、市民の利益を保護し、信頼される市政を確立することを目的に制定されるものであります。
不当な要求(主に外部から)や公益通報(内部からの告発)の二つが組み合わせてつくられました。本条例は、県下でも先進的な取組みとしての条例制定であります。
これによって、職員の資質向上はもとより、不当要求行為に対して

議案の審議

人事・条例・予算・意見書ほか

法令遵守の推進条例
児童クラブ条例を可決

人事

◆人権擁護委員推薦同意
市井 幸夫(土山町)
前田喜志江(土山町)
豊田いづみ(信楽町)
△教育委員の任命同意
安部 潤子(土山町)

条例の制定

△甲賀市法令遵守の推進条例の制定
職員倫理の保持、法令遵守の推進を図るため、不当要求行為などを条例で定める。
「全員賛成にて可決」
△甲賀市児童クラブ条例



平成18年甲賀市議会12月定例会は12月1日から20日までの20日間開かれました。報告7件、人事4件、条例3件、条例一部改正6件、補正予算8件、意見書1件、その他4件などが提出され、すべての案件を原案通り可決しました。(付託案件の審議内容については、委員会報告を参照下さい)

◆甲賀市デイサービスセンター条例改正
◆甲賀市病院事業設置等に関する条例改正
◆甲賀市農村公園条例改正
◆甲賀市東海道伝馬館条例改正
「以上5件全員賛成にて可決」

あいこうか
市民ホールに4億円補正

◆補正予算
◆平成18年度甲賀市一般会計補正予算(第5号)
入札差額や特別会計への繰入金等の減額分を計上し、財政調整基金等へ繰戻し、あいこうか市民ホール改修工事費などを参照)
◆市道認定
◆市道路線の認定につき議決を求める
①3150号南土山・神線
②711号水谷・広谷線
③712号杉谷・都合線

指定管理者
指定管理者の指定
施設名称 甲賀市あけびはら山の子はうす
指定管理者 鈴鹿山麓山内南ふれあいの里
会長 黒川 茂
「全員賛成にて可決」

Table with financial data for the 18th fiscal year special account and enterprise account supplement. Includes items like National Health Insurance, Nursing Insurance, and Waterworks, with amounts in thousands of yen.

計画の変更

◆土地改良事業計画の変更
甲賀地区、事業費10億3000万円を9億3700万円に変更。

意見書

◆全国森林環境税の創設を求める意見書提出
「全国森林環境税」を早急に創設し、森林の維持・育成のための財源確保を求める。
「全員賛成にて可決」

後期高齢者広域連合設立

医療制度改革関連法の成立により、平成20年度から、現行の老人医療制度(運営主体・市町村)に替わり、後期高齢者医療制度が創設される。新しい制度では、保険料徴収は市町が行い、財政運営は全ての市町が加入する。
反対討論 山岡 光広
賛成討論 中西弥兵衛
「賛成多数にて可決」

# 文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です

①「幼保一元化について」  
近年子どもへのしつけ力や保育力が低下するなかで、家庭と地域と園が連携し、幼稚園と保育園の垣根をとり、幼保一元化の政策を進める必要がある。

②「少子化傾向による幼稚園運営の弊害」  
園児の減少で園の小規模化傾向が進み、友達が



固定化し多様な遊びができない問題がでてくる。

③「古くなった園舎の改修、改築、地震対策」  
市内の園は建築時期がほぼ同じで20年以上である。

「**研修目的**」  
生涯学習のあり方とその施設の運営方法について、豊田市社会部生涯学習課運営の方法と甲賀市の違い、また今後どのように取り組むべきかを学ぶ。

「**設置目的**」  
社会の主役である市民が主体性を発揮できる環境整備を進め、市と市民、企業等との共働のまちづくりの推進を目指す。



「**事業内容**」  
市民活動にホール、研修室等の場所の提供。

「**研修事項**」  
職員構成、運営主体、ホールの利用状況、集客



複合施設で効率が図られている日進市民会館

「**研修目的**」  
少子化の進展、地域・施設間の格差等の問題により、甲賀市においても、幼保一元化の議論がありメリット・デメリット、また方向性などを学ぶ。

「**先進地視察研修**」  
10月11・12日

## 先進地視察研修 10月11・12日

文教常任委員会では、10月11・12日にかけて、静岡県並びに愛知県において、幼保一元化の取組みをはじめ、生涯学習や市民会館のあり方について先進地視察を行いました。研修内容を報告します。

「**センターの特色**」  
(1)市内保育園1ヶ所幼稚園2ヶ所の統合  
(2)3・4・5歳は幼稚園・保育園を区分せず同一年齢のクラスを同一棟に  
(3)4・5歳児幼稚園部のクラス間の仕切を可動壁とし活動の空間を大きくした。  
(4)子育て支援センターの併設。

## とよた市民活動の運営と活動

「**研修目的**」  
本年度より市に移管された「あいこうか市民ホール」の今後の運営の参考となる類似施設を見学。

「**施設の概要**」  
中央公民館と勤労福祉会館との複合施設で文化活動の中心拠点。大ホール1000席、ほか小ホール展示室、会議室がある。

「**研修事項**」  
職員構成、運営主体、ホールの利用状況、集客

愛知・日進市

「**センターの特色**」  
(1)市内保育園1ヶ所幼稚園2ヶ所の統合  
(2)3・4・5歳は幼稚園・保育園を区分せず同一年齢のクラスを同一棟に  
(3)4・5歳児幼稚園部のクラス間の仕切を可動壁とし活動の空間を大きくした。  
(4)子育て支援センターの併設。

「**研修目的**」  
生涯学習のあり方とその施設の運営方法について、豊田市社会部生涯学習課運営の方法と甲賀市の違い、また今後どのように取り組むべきかを学ぶ。

「**設置目的**」  
社会の主役である市民が主体性を発揮できる環境整備を進め、市と市民、企業等との共働のまちづくりの推進を目指す。

「**研修事項**」  
職員構成、運営主体、ホールの利用状況、集客

愛知・日進市

## 市民会館のあり方

「**研修目的**」  
本年度より市に移管された「あいこうか市民ホール」の今後の運営の参考となる類似施設を見学。

「**施設の概要**」  
中央公民館と勤労福祉会館との複合施設で文化活動の中心拠点。大ホール1000席、ほか小ホール展示室、会議室がある。

「**研修事項**」  
職員構成、運営主体、ホールの利用状況、集客

「**研修目的**」  
本年度より市に移管された「あいこうか市民ホール」の今後の運営の参考となる類似施設を見学。

「**施設の概要**」  
中央公民館と勤労福祉会館との複合施設で文化活動の中心拠点。大ホール1000席、ほか小ホール展示室、会議室がある。

「**研修事項**」  
職員構成、運営主体、ホールの利用状況、集客

愛知・日進市

# 民生常任委員会

市民の生活と環境、福祉に関わる委員会です



「**センターの特色**」  
(1)市内保育園1ヶ所幼稚園2ヶ所の統合  
(2)3・4・5歳は幼稚園・保育園を区分せず同一年齢のクラスを同一棟に  
(3)4・5歳児幼稚園部のクラス間の仕切を可動壁とし活動の空間を大きくした。  
(4)子育て支援センターの併設。



「**研修目的**」  
本年度より市に移管された「あいこうか市民ホール」の今後の運営の参考となる類似施設を見学。

「**施設の概要**」  
中央公民館と勤労福祉会館との複合施設で文化活動の中心拠点。大ホール1000席、ほか小ホール展示室、会議室がある。



長野市民病院の待合室・玄関ロビー

「**センターの特色**」  
(1)市内保育園1ヶ所幼稚園2ヶ所の統合  
(2)3・4・5歳は幼稚園・保育園を区分せず同一年齢のクラスを同一棟に  
(3)4・5歳児幼稚園部のクラス間の仕切を可動壁とし活動の空間を大きくした。  
(4)子育て支援センターの併設。

「**研修目的**」  
本年度より市に移管された「あいこうか市民ホール」の今後の運営の参考となる類似施設を見学。

「**施設の概要**」  
中央公民館と勤労福祉会館との複合施設で文化活動の中心拠点。大ホール1000席、ほか小ホール展示室、会議室がある。

「**研修事項**」  
職員構成、運営主体、ホールの利用状況、集客

「**研修目的**」  
本年度より市に移管された「あいこうか市民ホール」の今後の運営の参考となる類似施設を見学。

「**施設の概要**」  
中央公民館と勤労福祉会館との複合施設で文化活動の中心拠点。大ホール1000席、ほか小ホール展示室、会議室がある。

「**研修事項**」  
職員構成、運営主体、ホールの利用状況、集客

愛知・日進市

「**センターの特色**」  
(1)市内保育園1ヶ所幼稚園2ヶ所の統合  
(2)3・4・5歳は幼稚園・保育園を区分せず同一年齢のクラスを同一棟に  
(3)4・5歳児幼稚園部のクラス間の仕切を可動壁とし活動の空間を大きくした。  
(4)子育て支援センターの併設。

「**研修目的**」  
本年度より市に移管された「あいこうか市民ホール」の今後の運営の参考となる類似施設を見学。

「**施設の概要**」  
中央公民館と勤労福祉会館との複合施設で文化活動の中心拠点。大ホール1000席、ほか小ホール展示室、会議室がある。

「**研修事項**」  
職員構成、運営主体、ホールの利用状況、集客

「**研修目的**」  
本年度より市に移管された「あいこうか市民ホール」の今後の運営の参考となる類似施設を見学。

「**施設の概要**」  
中央公民館と勤労福祉会館との複合施設で文化活動の中心拠点。大ホール1000席、ほか小ホール展示室、会議室がある。

「**研修事項**」  
職員構成、運営主体、ホールの利用状況、集客

愛知・日進市

## 甲賀市児童クラブ設置条例

「**センターの特色**」  
(1)市内保育園1ヶ所幼稚園2ヶ所の統合  
(2)3・4・5歳は幼稚園・保育園を区分せず同一年齢のクラスを同一棟に  
(3)4・5歳児幼稚園部のクラス間の仕切を可動壁とし活動の空間を大きくした。  
(4)子育て支援センターの併設。

「**研修目的**」  
本年度より市に移管された「あいこうか市民ホール」の今後の運営の参考となる類似施設を見学。

「**施設の概要**」  
中央公民館と勤労福祉会館との複合施設で文化活動の中心拠点。大ホール1000席、ほか小ホール展示室、会議室がある。

「**研修事項**」  
職員構成、運営主体、ホールの利用状況、集客

「**研修目的**」  
本年度より市に移管された「あいこうか市民ホール」の今後の運営の参考となる類似施設を見学。

「**施設の概要**」  
中央公民館と勤労福祉会館との複合施設で文化活動の中心拠点。大ホール1000席、ほか小ホール展示室、会議室がある。

愛知・日進市

## 長野県 茅野市「福祉21 ビーナズプラン」 長野市「市民病院と地域医療」



茅野市の「西部保健福祉センター」を視察



長野市民病院の待合室・玄関ロビー

民生常任委員会は、11月7日～8日の両日、長野県茅野市の「福祉21 ビーナズプラン」と長野市民病院、また、「長野市もんぜんぶら座」を視察しました。

### 行政視察

① 茅野市地域福祉推進条例・福祉21 ビーナズプラン  
茅野市では、福祉・環境・教育を柱とし、市民主導・行政支援による公民協働のまちづくりをすすめています。  
市民手づくりの「地域福祉推進条例」や、日本地域福祉学会地域福祉優秀実践賞を授賞した「ビーナズプラン21」の策定経緯などについて研修を行うと共に、保健・医療・福祉の各サービスを一体的に提供する「西部保健福祉サービスセンター」を視察しました。  
甲賀市地域福祉計画の策定段階にある本市にとって、茅野市の取り組みは大変に参考になるものでした。

② 長野市民病院  
地域医療における水口市民病院の役割はどうあるべきかという観点から、公設民営（現在は指定管理者制度）で経営されている長野市民病院を視察しました。  
当病院は、平成7年6月に開院され、長野市北部地区の公的中核病院として、地域の医療機関などとの機能分担と連携を図りつつ、高度専門医療等を中心に運営されています。  
長野市民病院は本市の市民病院とは規模が異なりますが、市民病院としての経営理念や地域医療のあり方などを研修することができ、茅野市の取り組みと併せて大変得るところがありました。

平成 18 年第 6 回甲賀市議会定例会代表質問

平成 18 年 12 月 11 日

Table with 5 columns: 順番, 議席番号, 氏名, 会派名, 質問事項. Contains 4 rows of questions from various council members.

平成 18 年第 6 回甲賀市議会定例会一般質問

平成 18 年 12 月 13 日・14 日

Table with 5 columns: 順番, 議席番号, 氏名, 質問事項. Contains 13 rows of general questions from council members.

産業建設常任委員会

農業・観光振興・交通・上下水道の整備に関わる委員会です

信楽の現地調査を実施

12月15日、信楽町地域の所管事務について、10ヶ所を現地調査しました。

当委員会では、7名の委員がそれぞれの出身地域だけではなく、甲賀市全域の所管事務の現状を認識することを目的に、集中的な事務調査を行なっています。

今回は、信楽町地域における、上下水道関連の事業。朝宮茶・信楽焼等の地場産業の現況、その他建設、農林業に関係した現地を視察しました。

- ① 単人川河川公園（整備工事）現場（黄瀬）
② 公共下水道処理場信楽浄水場（下朝宮）
③ 寺谷茶生産団地・向山茶生産団地（上朝宮）
④ 信楽陶器工業協同組合粘土工場（江田）
⑤ 滋賀県陶芸の森・陶芸館・信楽産業展示館・創作研修館（勅旨）

- ⑥ 朝宮地域集落排水処理場建設予定地（宮尻）
⑦ 中部地域簡易水道朝宮浄水場（下朝宮）
⑧ 寺谷茶生産団地・向山茶生産団地（上朝宮）
⑨ 信楽陶器工業協同組合粘土工場（江田）
⑩ 滋賀県陶芸の森・陶芸館・信楽産業展示館・創作研修館（勅旨）



③ 公共下水道管路（牧西側幹線の地下埋設現場）



⑧ 寺谷茶生産団地（急斜面が連続する寺谷茶生産団地）

昭和41年度の農業構造改善事業により造成された寺谷茶生産団地は、15度内外の傾斜地を生かしてその自然条件とあいまって最高品質のお茶を生産されています。また、工業組合の粘土工場では山から掘り出された原土を乾燥・調合・精錬という工程を経て、信楽焼生産の原料として供給されています。



⑨ 工業組合粘土工場（原土の乾燥施設）

観光振興についての行政視察報告

10月3日・4日と実施した観光振興の先例地である愛知県豊田市（足助町）及び刈谷市の刈谷ハイツエイオアシスの研修報告をします。

一季型観光からの脱却を目指して

豊田市足助町
年間の観光客数が140万人を超える足助ですが、そのほとんどが香風溪の「もみじ」観光であり秋に集中しています。「足助屋敷」「足助城の復元」といった地域の歴史と文化をテーマにした足助らしさを見直した通年型の観光地を目指していました。



ランドマークとなっている大観覧車とその付属施設

刈谷市
平成16年12月に開業した刈谷ハイウェイオアシスは、伊勢湾岸自動車道のパーキングエリアとしての機能と刈谷市が整備する岩ヶ池公園からの一般道路の利用者が楽しめる二面性を持った施設です。施設のランドマークとして遠方からも見える大観覧車。絨毯敷きの案内にソファアが置かれた女性トイレ。とれたての新鮮な地場の野菜や果物を提供する産直市場、市民やドライバーが利用する天然温泉施設等、行政と民間の連携がうまく



施設内にある温泉を利用した噴水

(No.2)

# 各会派による代表質問

## 平成19年度予算編成について問う

清風クラブ



今村和夫

**問** 平成19年度予算編成にどう取り組むか

**市長** 今後予測される財源不足解消と平成21年度までに、財政調整基金残高20億円以上の確保、歳入の確保と歳出の抑制に取組み、財政健全化指針の実践となる予算編成を考える。一方、平成19年度を総合計画の具現化を進める初年度と考え、市民生活の豊かさやまちの活性化に向け「より有効に使うがための削減」の視点で、市民にとって真に必要な施策だけをタイミングを逃すことのないよう実施する。そのため、市民皆様のご理解とご協力を得、共に知恵を出し合う「協働のまちづくり」を進めて行くことが大切である。

**問** 歳入の確保をどのように図っていくか

**市長** 地方自治体には、それぞれの自立と責任によるまちづくりが求められている。充当できる国費、県費の適正な歳入確保、公共料金の適切な設定と徴収、サービスの提供に対する適正な受益者負担の確保、市有遊休地の積極的処分等、効率的効果的な市政運営に努め、歳入に見合った歳出を徹底する。市税の確保については、納税意識も低下し、滞納者も増加傾向にあるので、県一体となつて各種媒体を通して納税意識の普及、高揚を図っていく。

**問** 行政改革へ向けての取り組み意欲は

**市長** 本年度から改革推進本部を中心として改革に取り組みしていく。行政改革の成否は、取り組みが先ず危機意識と改革の必要性をどれだけ共有でき、自らの改革はむろんのこと、市民に本市の状況を十分に理解しているかどうかにかかると考えている。

## 行財政改革の取り組みはどうか

正政会



石川善太郎

**問** 財政改革へ向けての取り組みは

**市長** 3年後に見込まれる財源不足34億円を解消するため、甲賀市財政健全化指針を策定し、財政調整基金の確保、プライマリバランスの黒字化を目指す。これは単に減量を目的とした経費削減だけでなく、市民の満足を得る甲賀市の建設のためである。

**問** 甲賀病院建設のその後の進捗状況は

**市長** 平成17年11月に、水口町虫生野地先とした当初事業予定地での特定地権者の承諾が得られず、用地の確保が難しいとの判断をせざるを得なくなった。平成18年3月に現在の甲賀病院を中心とした5キロメートル圏内で、新たな移転候補地を選定することとなつていくことが重要である。

**問** 歳入の確保をどのように図っていくか

**市長** 地方自治体には、それぞれの自立と責任によるまちづくりが求められている。充当できる国費、県費の適正な歳入確保、公共料金の適切な設定と徴収、サービスの提供に対する適正な受益者負担の確保、市有遊休地の積極的処分等、効率的効果的な市政運営に努め、歳入に見合った歳出を徹底する。市税の確保については、納税意識も低下し、滞納者も増加傾向にあるので、県一体となつて各種媒体を通して納税意識の普及、高揚を図っていく。

**問** 行政改革へ向けての取り組み意欲は

**市長** 本年度から改革推進本部を中心として改革に取り組みしていく。行政改革の成否は、取り組みが先ず危機意識と改革の必要性をどれだけ共有でき、自らの改革はむろんのこと、市民に本市の状況を十分に理解しているかどうかにかかると考えている。

**問** 甲賀病院建設のその後の進捗状況は

**市長** 平成17年11月に、水口町虫生野地先とした当初事業予定地での特定地権者の承諾が得られず、用地の確保が難しいとの判断をせざるを得なくなった。平成18年3月に現在の甲賀病院を中心とした5キロメートル圏内で、新たな移転候補地を選定することとなつていくことが重要である。

現在の公立甲賀病院

## 福祉関連の予算は確保されるか

公明党



加藤和孝

**問** 予算編成方針によれば、平成19年度では13億円の財源不足となることであるが、必要な福祉関連予算は十分に確保されるのか。先に実施された「事業仕分け」の結果を予算編成にどのように反映させるのか。

**市長** 市民意識調査で「健康・福祉」と「安全・安心」が上位にある。福祉豊かなまちを地域住民と行政が一緒に築いていく必要があることから、必要とされる事業費について十分に精査し確保する。事業仕分けの内容を検証・整理して行政改革推進計画に定められている事務事業の見直し作業にも生かしていく。

**問** 大規模地震に備えるための重要な対策の一つは、家具を固定して倒れないようにすることである。この家具の固定について、防災・減災のうえから改めて周知徹底していく必要があるのではないか。

**市長** 防災学習会や出前講座等の機会を通じて耐震対策や家具の固定、緊急持ち出し等の必要性をお知らせし、防災月間や阪神淡路大震災時期に家庭における地震対策などの広報を行っている。今後とも、地域における啓発と予防活動をお願いしたい。

**問** 要東市長選の結果、民意の6割は凍結・中止である。新駅の仮線工事の起債も地財法違反との差し止め裁判も出された。県の経済効果検証も出た。市はこれらの大きな変化の中で、新駅負担金はキツパリ中止すべきである。

**市長** 本年度、市の負担金はすでに納入した。促進協議会の正副会長会議で凍結を含めた幅広い議論を行ない、遅くとも、三月末までに結論を出すことが確認されている。

## 新幹線新駅の甲賀市負担金は中止を

日本共産党



小松正人

**問** 大規模地震に備えるための重要な対策の一つは、家具を固定して倒れないようにすることである。この家具の固定について、防災・減災のうえから改めて周知徹底していく必要があるのではないか。

**市長** 防災学習会や出前講座等の機会を通じて耐震対策や家具の固定、緊急持ち出し等の必要性をお知らせし、防災月間や阪神淡路大震災時期に家庭における地震対策などの広報を行っている。今後とも、地域における啓発と予防活動をお願いしたい。

**問** 要東市長選の結果、民意の6割は凍結・中止である。新駅の仮線工事の起債も地財法違反との差し止め裁判も出された。県の経済効果検証も出た。市はこれらの大きな変化の中で、新駅負担金はキツパリ中止すべきである。

**市長** 本年度、市の負担金はすでに納入した。促進協議会の正副会長会議で凍結を含めた幅広い議論を行ない、遅くとも、三月末までに結論を出すことが確認されている。

**問** 学校教育で、近年、厳しい教育評価と過度の競争教育が押しつけられている。このことが子どもに非常に強いストレスとなつて、いじめやいじめ等の調査があったが、いじめ対策が出来ていない学校は危機意識をもつてきめ細かい指導ができるよう地域とも連携して行きたい。

**教育長** 県教委から、いじめ等の調査があったが、いじめ対策が出来ていない学校は危機意識をもつてきめ細かい指導ができるよう地域とも連携して行きたい。

ストレスといじめに関連がある			
	ストレスがたまっている	子どもを思うよくなる	いじめがある
小学生	47.5%	12.2%	35.9%
	35.3%	12.8%	35.3%
中学生	64.5%	22.3%	29.8%
	42.2%	12.5%	17.3%

(秦政春著「改訂版生徒指導」から)

**問** 障害者自立支援法や改正障害者雇用促進法により、障がい者の就労

**市長** 国保連合会で県内での統一実施や導入時期等を協議してきた結果、平成20年4月から実施されることが確認され、カードの材質等の検討が進んでいる。

**問** 大規模地震に備えるための重要な対策の一つは、家具を固定して倒れないようにすることである。この家具の固定について、防災・減災のうえから改めて周知徹底していく必要があるのではないか。

**市長** 防災学習会や出前講座等の機会を通じて耐震対策や家具の固定、緊急持ち出し等の必要性をお知らせし、防災月間や阪神淡路大震災時期に家庭における地震対策などの広報を行っている。今後とも、地域における啓発と予防活動をお願いしたい。

**問** 学校教育で、近年、厳しい教育評価と過度の競争教育が押しつけられている。このことが子どもに非常に強いストレスとなつて、いじめやいじめ等の調査があったが、いじめ対策が出来ていない学校は危機意識をもつてきめ細かい指導ができるよう地域とも連携して行きたい。

**教育長** 県教委から、いじめ等の調査があったが、いじめ対策が出来ていない学校は危機意識をもつてきめ細かい指導ができるよう地域とも連携して行きたい。

静岡県地震防災センターの家具固定の展示



ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

市長 児童虐待は、複雑困難なケースが多く、



「こんにちは赤ちゃん事業」の計画を伺う。

Q 児童虐待対策強化を

A 相談員の増員を検討

ネットワーク協議会を円滑に機能させる為にも今後、相談員の増員を検討し、児童と親の支援に努める。「こんにちは赤ちゃん事業」は、専門の訪問スタッフも必要となることから事業の実施方法は今後検討する。

「火災警報器」の設置が近く義務づけられることから、設置拡大の周知方法。悪質販売防止対策は。高齢者・障害者・困窮者世帯への対応は。又介護保険の適用は考えていないのか。アパート、貸家の周知

岩田孝之 議員

Q 企業立地に伴う雇用対策は

A 甲賀市工業会(仮称)の設立を視野に

4月以降12社が甲賀市で新たに企業立地され、操業を開始されたが、企業側の求人に対応できない状況があると聞いています。市民へのPRや企業の情報収集等、甲賀市挙げての雇用の確保のための具体的な取り組みが必要。市長の所見を伺う。

来年度からは当市の競争力が強化できることを目指して甲賀市工業会(仮称)の設立も視野に入れ、求職、求人しやすい環境条件の整備に努め、これらを施策の中で活かしていきたい。



平成18年11月に操業を開始した日本写真印刷

福西義幸 議員

Q 農地・水・環境保全向上対策は

A 4500万円を支援

農地・水・環境保全向上対策予算措置は。市長 この制度に対する市内農業集落の取り組み意向は142集落のうち75%にあたる107の集落が意志を示されており、「共同活動への支援」で2600万円、「環境こだわり農業への支援」で1900万円となり合計で4500万円となる。

厳しい財政状況ではあるが、今後の甲賀市農業を考え、対応してまいり所存である。



崩落畦畔の修復活動

# 一般質問

13人の議員が登壇



## 市政を問う

◎今回からタイトルをQ&A方式にしました。  
◎より詳細な内容はインターネットでご覧になることができます。

酒巻昌市 議員

Q 希望ヶ丘接続道路の整備を

A 県にも強く要望していく

杉谷嶺線の希望ヶ丘本町9丁目入口までの未改良区間について、今後の取組み計画について伺う。

工事を実施している。第二潤団地から給水塔間の350mは次年度以降に実施する計画になっている。

平成15年度に杉谷嶺線の水口甲南線交差点から深川市管住宅までの平面測量調査を実施したが、県財政の厳しい状況もあって未だに実施計画などの事業化に向けた取組みが行われていないので、当路線の未改良区間が早期に改修出来るよう県に強く要望していく。



改善が求められているゲートボール場(希望ヶ丘防災コミセン)

和、対象外農家の追加支援を強く要請したい。

市長 今日までも、県独自の施策導入を申し入れて来たが、今後も支援の拡大を強く求めて行く。

一般質問

Q 市民生活に対する危険防止対策は

A 甲賀湖南市民協議会を設立

鶴飼 勲議員

問 暴力的要求行為・不当行為への対応策と消費者被害の未然防止策は

市長 住民総ぐるみによる暴力団排除意識の高揚と、監視活動、情報提供等を徹底することが重要であり、「暴力団追放甲賀湖南市民協議会」を設立した。暴力団の排除には暴力団追放三不運動に率先して取り組み、市民生活の安全と安心の確保に努める。消費生活相談が年々増加している現状に鑑み、関係機関と連携し、特に増加している高齢者や若者の被害を防止するために積極的な啓発活動に努める。...



庁舎敷地内の自動販売機

河合定郎 議員

Q 地域が支えあう「子育て」を

A 市民活動の展開も期待

問 子育ての新たな支えあいについて、もった地域住民が一体となって考えるべきだと思いませんか？



子ども達は地域の宝だ (甲賀北保育園運動会)

Q 総合計画と個別計画の整合性は

A あらゆる手法でみんなの計画に

木村泰男 議員

問 市の今後10年間の憲法とも言える総合計画について ①各課個別計画との整合性 ②今後策定される計画への市民参加 ③市民との協働による計画達成と説明責任 ④コサルタント利用による計画策定について

市長 ①補助消防として存続か、自主防災組織へ移行か、地域の実情に合わせ検討を。②昨年12月女性団員創設も含め地域特性に合わせ再編。③団幹部と協議し、よりよい体制を検討。本年、危機管理対策室を設置。

Table with 3 columns: 部, 代表的計画, 評価. Lists various plans like '地域防災計画', '国民保護計画', '総合計画', etc.

Q 「中心市街地活性化基本計画」は

野田卓治 議員

A 補助事業など模索しよう

問 平成17年度に甲賀市中心市街地活性化基本計画が策定委員会設置のもと、素晴らしい計画が策定されました。しかしまちづくり三法改正により、基本計画の根拠を失い、改正法に沿った再度基本計画の認定が必要になりました。新法では認定に対する判断基準のハードルが高く、認定については、大変厳しいものと予測する。

このままでは、中心市街地はシャッター通りになり、市全体の活性化にも影響を及ぼします。官民が協働で現在ある施設、建造物などを有効利用し、歴史、文化、町並み保存なども含め、真剣に取り組み必要がある。



中部コミュニティセンター

Q 複式学級と統廃合問題は

A 地域住民の声と機運を見て

土山定信 議員

問 小規模校の複式学級と廃校について



上空から見た土山中学校

問 子どもを守るための地域活動に対して、学校や市の支援について

十分な時間をとって、保護者や地域住民の皆さんのご意見を聞き、機運をみながら検討していきたい。

問 市内小中学校の再編成についての考えは



児童福祉課の「窓越し」の受付改善せよ



ここでは「相談」できない。「相談室」の設置を

山岡光広 議員

Q 「総合窓口」や「相談室」の設置を

A 利用しやすい庁舎へ適切に対応

問 正面玄関に「総合案内」を、市民課のカウンターを低く、児童福祉課の「窓越し」受付を改善せよ、ロビーの相談コーナーを改善し「相談室」の設置を。土山・甲賀・信楽の「空き室」の活用を。介護保険地域包括支援センターの機能強化を。

問 子どもの文化活動やスポーツ活動において、交流できる機会を増やすなど、前向きな支援を行っていききたい。

市長 今後は来庁者の目線にたって利用しやすい庁舎となるよう適切に対応していきたい。「相談室」については検討していきたい。

一般質問

安井直明 議員

Q 行革はサービス低下に  
ならぬよう

A 欠員などは補充する

時間外勤務も多く保育士  
など職員確保を

問 行革で職員を減らす  
計画だが、本来は住民  
サービスの拡大が必要。  
超勤も多く、保育士の不  
足など人材を確保せよ。

健康福祉部長 保育士の  
欠員は補充する。

利用していない土地の活  
用を

問 財政が厳しいとき、  
未利用の土地が多くあ  
る。活用と処分を。

企画部長 指摘のとおり  
台帳を作り検討する。

猿害の補助制度をもっと  
わかりやすく

問 議会質問で猿害への  
個人にも補助制度を作っ  
たが、実態に合った補助  
に改善を。もっとPRと  
申請の簡素化を図るべ  
き。

産業経済部長 PRと補  
助制度は見直し検討す



被害のため金網で保護する個人の畑

安全な交差点に

問 通学路でもあり、4  
車線化に伴い危険がいつ  
ぱい、アンダーパスに改  
善せよ。

建設部長 国に対し、再  
度働きかける。



4車線化に伴いより危険度の増す西名坂交差点

Q 高原鉄道安定経営への  
構築を

A 県当局に更なる支援を要請

中西弥兵衛 議員

問 地方鉄道の経営状況  
は大変厳しくSKRも例  
外ではない。現在は県や  
市の支援をうけ安全運行  
に努めているが財政難に  
あえぐ滋賀県の人的・物  
的支援の今後の見通しに  
ついて市長はどう思う  
か。

市長 JR西日本との補  
償調停が不調になった  
状況の下、嘉田知事を  
始め県当局に更なる支  
援を強く要請している。

問 各種イベント企画  
等で増収を図っている  
が今一步、原点にもど  
り「乗って延そう運動」  
を積極的に展開すべき

では。  
市長 地元と密着したイ  
ベントの展開や地元及び  
各種団体による利用促進  
活動の実施など物心両面  
で「市民と共に歩む鉄道」  
として取りくみたい。

問 びわ湖京阪奈線構想  
実現への第一歩として近  
江鉄道との直結化工事を  
早急に決断されたい。

市長 直結化工事は構想  
実現のためには必要不可  
欠な施設であり、既存鉄  
道の採算性の向上や条件  
整備の推進を図りながら  
滋賀県や京都府と連携し  
構想実現に向け国等の支  
援が得られるよう努めた  
い。

問 財政が悪化している  
中では市全体が元氣の出  
る施策と同様に今後のた  
めにも、我慢と辛抱も必  
要である。それには市民  
の協力と納得が必要であ  
り、住民市民の役割、責  
務も明確にする必要があ  
るのではないかと。

市長 従来のように行政  
が全ての公共サービスを  
担うことは困難であり、  
これまでの行政のしくみ  
や「公共」そのものの概  
念を変えていく必要があ  
る。



親子つれでにぎわうサンタ列車

Q 行政改革・市民の役割

A 自治基本条例の必要性認識

辻 金雄 議員

問 財政が悪化している  
中では市全体が元氣の出  
る施策と同様に今後のた  
めにも、我慢と辛抱も必  
要である。それには市民  
の協力と納得が必要であ  
り、住民市民の役割、責  
務も明確にする必要があ  
るのではないかと。

市長 従来のように行政  
が全ての公共サービスを  
担うことは困難であり、  
これまでの行政のしくみ  
や「公共」そのものの概  
念を変えていく必要があ  
る。

問 財政が悪化している  
中では市全体が元氣の出  
る施策と同様に今後のた  
めにも、我慢と辛抱も必  
要である。それには市民  
の協力と納得が必要であ  
り、住民市民の役割、責  
務も明確にする必要があ  
るのではないかと。

市長 従来のように行政  
が全ての公共サービスを  
担うことは困難であり、  
これまでの行政のしくみ  
や「公共」そのものの概  
念を変えていく必要があ  
る。

問 財政が悪化している  
中では市全体が元氣の出  
る施策と同様に今後のた  
めにも、我慢と辛抱も必  
要である。それには市民  
の協力と納得が必要であ  
り、住民市民の役割、責  
務も明確にする必要があ  
るのではないかと。



ふれあいいきいきサロン

特別委員会の動き

第二名神  
対策特別  
委員

第二名神部分開通を  
控えての課題を探る

課題1 大津・亀山ジャ  
ンクション間(42km)の  
開通前イベントについて

市民の皆さんに第二名  
神の大プロジェクトを身  
近に感じていただくた  
め、平成19年の秋にプレ  
イイベントを、平成20年の  
春に本イベントを実施さ  
れる予定です。名神から  
甲賀市を見つめ直すこと  
により、新たな町づくり  
への取り組み機会になれ  
ばと考え、多くの市民の  
参加が得られるような魅  
力あるイベントを企画す  
る必要があります。連結  
する亀山・大津市とも調  
整を図り、フリーウォー  
キングやサイクリングな  
ど気軽に参加できる内容  
が良いと考えておりま  
す。

課題2 観光客誘致対策  
と市内SA・PAの内

容充実について

本道路は一日当たり  
4万台以上の交通量が  
見込まれるため、道路沿  
線やインター周辺に多国  
語の案内案内標識を設置  
する一方、中部国際空港  
や関西国際空港に対しビ  
ジット甲賀キャンペーン  
を展開するため観光協会  
や商工会関係団体の皆様  
と協議を進めることが  
必要です。またSA・  
PAにおいては地元特  
産品を使用、販売してい  
ただけるよう市としても  
積極的な支援を期待しま  
す。将来的にはSA・  
PAを拠点に市コミュ  
ニティバスを利用した市  
内観光巡回ルートも検討  
する必要があります。高  
速道路各社も利用者の  
サービス向上をめざして  
おり、土山SA内にドッ



工事の進む土山サービスエリア

克蘭のようなベットの  
休憩施設が計画されてい  
ます。

課題3 インターへのア  
クセス道路整備について

甲賀土山・信楽・甲南  
インターのうち信楽イン  
ターへのアクセス道路に  
ついては、今なお未着工  
のため、土地所有者に対  
し事業への協力をお願い  
すると共に、早期着手を  
国県に要望していくこと  
が緊要となっております。

産業廃棄物  
対策特別  
委員会

動き出すクリーンセンター滋賀  
平成19年度の開業に向けて!!

「産業廃棄物管理型  
最終処分場」

聞きなれない名称です  
が、今や甲賀市民にとっ  
て、最たる関心事です。  
そこで本委員会では、  
安全で安心できる施設と  
なるよう、その建設状況  
を的確に把握し、疑義が  
あれば環境監視委員会と  
もども、公社に意見具申  
するとともに、その内容  
を市民に伝えていく責務  
から過日進捗状況調査を  
実施しました。

公社  
甲賀支  
社長か  
ら詳細  
なる現  
況説明  
を受け、な  
かでも  
漏水問



クリーンセンター滋賀説明状況

「瑞穂環境保全センター  
を見て」

(株)京都環境保全公  
社とは、営業収集運搬、  
中間処理、再資源化、最  
終処分及びリサイクル研  
究まで、産業廃棄物処理  
のトータルシステムを確  
立している官民共立の企  
業体です。  
視察調査内容から、こ  
こ瑞穂センターは、特に  
排水終末処理がクリーン  
センター滋賀のように公  
共下水に投入できず、一  
次水をさらに二次高度処  
理し、河川最上流である  
ことから飲料水に近い状



瑞穂環境保全センターにて

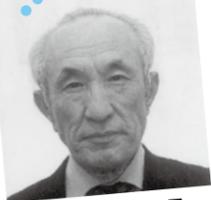
態で放流しており、環境  
企業理念の高さが伺われ  
ました。  
一方監視体制は、地元  
の首長を長とする委員会  
の活動がすばらしく、年  
4回の委員会、毎月の立  
入検査・調査と併せて地  
元地域民による特別監視  
体制も徹底してしまし  
た。もう一つの特徴は、  
利用者でもある京都府  
内外の出資企業が万全の  
協力姿勢でいることでし  
た。

# 市民フォーラム

## 市民の声・市政への要望



### 市民が主体の安定した市政を！



甲賀町区長会長  
北澤 幸七

私たち市民は、合併すればより充実した行政サービスがあるものと期待していました。その期待に応えるための市政を推進されましたが、社会情勢の変化等によりこれが一変しました。

厳しい自治体の財政運営の中、市は行政改革を推進されようとしています。市民と行政の積極的な対話、受け手の立場に立った質の高い行政サービス、簡素な組織で効率的で安定した行政を基本にされています。

市民生活向上のため、市民が主体の市民のための安定した市政を継続して推進されるよう私たち市民、市議会挙げて見守りたいと思います。

### 市民のためのホールに！

旧水口文化芸術会館  
文化サポーター  
猪飼 俊江

私達は、県の施設サポーター制度により水口文化芸術会館の文化サポーターとしてボランティア活動をしてきました。現在、県から市立に移ったことで市民のホールとして

身近に感じています。近く大改修が行われると聞いています。ぜひ親子が鑑賞できる室やゆったりと見やすい客席などの実現に期待します。市民が「私達の文化ホール」と認識し、関係する利用者が共により高度な文化芸術の提供ホールに育てたいものです。私達も今までの研修や経験で得た知識と技術を生かし、行政との協働で、市民ホールサポーターで再出発したいと考えております。

### 住民の活動拠点整備を！！



甲南町野田  
森 田 うた子

私は文化活動とボランティア活動に少しかわっています。五町の合併で今までの町の垣根を越えた交流もできる反面、まだ馴染めずに困っている事もあります。

そこで小さな願いをひとつ述べます。

それぞれの団体が活動する為の施設を借りるのが大変で、プララの場合毎月一日には早朝七時頃から行列ができます。

各地区には立派な設備を持つ自治会館があり、鍵のかかっている日が多いのが勿体ないと思いますので、何とか制度的にプララ並みの料金で借りられないでしょうか。

### 市政運営に望む



土山町鮎河  
橋本 馨

合併して早二年が過ぎ市政の皆様方も就任後一年余りを経験され、日々研鑽されておられる事、ご苦労です。合併して市民と「行政・議会」が遠くなった感があり、また先の合併協議会で長期に渡り話し合われた合併後のバラ色の計画と今の現実会計とのズレは何故か？市議会も職員と共に経営感覚を持ち、しっかりと現状把握をして、市としての新しいシステムを構築すべきであると考えます。市政の基本は数多くの市民との対話を元にして、市内全域の住民に格差のないバランスのとれた行政を進めて頂く事と思います。関係各位により一層のご精進をお願いしまして今後のご活躍をご期待申し上げます。

### ゆとりあるまちづくりを！！



信楽町長野  
富増 ゆか

信楽で生まれ育った私。現在、二人の子供の子育てと作陶の毎日です。両立は、なかなか厳しいものがありますが、私にとってはどちらも大切な事です。悪

戦苦闘しながらも子育て出来る事に感謝し励み、天恵の陶土を手にし、創意工夫する仕事にも誇りを持っています。今、全国的に陶産地は苦境にあり、将来どうなってゆくの心配です。産業経済の発展は暮らしにゆとりを生み、教育福祉に力が注がれ、子育てにもゆとりが生まれると思います。そんな誰もがゆとりをもって暮らせるまちづくりを行政にお願いしたいと思います。



## 組合議会の動き

### 行政組合

# し尿汲み取り手数料問題 調査結果が議会に報告

12月22日、甲賀広域行政組合議会が鹿深ホールで開かれ、し尿汲み取り手数料繰越金が旧石部町、旧土山町において赤字になって

いる問題について、調査結果が報告されました。

判明致しました。長年に渡ったの会計処理であったため書類が不現在の事も起因し、過去のどの時点かは不明であるが、事務処理ミスにより旧町間の仕分けに誤りがあったと考えられ繰越し残額は

公認会計士の指導を受け公金の管理、し尿汲み取り委託料預り集計表の残額の検証、手数料送金額と組合決算額、汲み取り会計システムと組合保有額の証明等々の調査がなされた。結果として各町から送金された手数料金は、組合において正しく入金されており、その総額についての収支は合っていることが



甲賀広域衛生プラント

### 病院組合

# 安定した自治体病院経営を学ぶ

病院組合議会では、現在改築計画が進む甲賀病院の安定経営に資するため、10月16・17日の両日、兵庫県赤穂市民病院・岡山東徳市立吉永病院・兵庫県立総合リハビリテーションセンターを視察し、各病院の経緯ならびに経営方針等を研修しました。

病院長は、少子高齢化・病院構造の変化・医療技術の進歩による医療の高度化により、地域住民の医療に対するニーズが多様化しているのは全国的な状況です。そんな中、赤穂・吉永両病院で共通して学んだことは、院長の経営方針に思いやりのあ

る病院づくり・患者の立場に立った効率的な運営（オーダーリングシステム導入で待ち時間の短縮を計る・他の医療機関との連携づくり・福祉分野との協力体制・医事経費等効果的外部委託等）がその地域の特性を生かし存在している点でした。全国的にも医師不足の中、両病院とも大学病院との



ビデオによる説明を受ける

縮密な人的連携を保つておられること、さらに時間をおしらず患者と接しておられるその信頼の姿が伺えました。立地背景も市内を全眺望できる良環境であり、市民の意を大きく反映された事業だと心あたたまる良い学びでした。この学びを今後にも生かしていきたい。

おもな内容

- 新春対談 2~5
- 議案審議 6~7
- 委員会報告 8~10
- 質問一覧表 11
- 各会派による代表質問 12~13
- 一般質問(13名が問う) 14~18
- 特別委員会等の動き 19~20
- 市民フォーラム 21
- くつろぎこうか [シリーズVol.5] 22



新校舎は木の香りとぬくもりが…。  
真新しい学校で授業もはずむ  
(貴生川小学校)

議会に関する詳しい情報は、甲賀市のホームページ <http://www.city.koka.shiga.jp> の市議会だよりの中で議事録を検索することができます。また各支所および各図書館でも議事録の閲覧ができます。

## くつろぎこうか

Vol.5

甲南 ふれあいの館



子どもたちも体験



前挽鋸(まえびきのこ)の展示



里山の暮らし展

すき 鋤や鍬、唐箕、臼や杵…。  
たんす 筆筒や長持、五右衛門風呂つて  
ご存知ですか。懐かしいという人  
も、聞きはじめという人も一  
度訪れてみてほしい「甲南ふれ  
あいの館」を紹介します。

甲南中央運動公園の一角に「ふれあいの館」があります。一見して『校舎』とわかるこの建物は、甲南第三小学校の講堂(昭和2年建築)を1991年に移築したものです。館内には、「民具友の会」が中心となって集めた昔の農具や生活道具約三千点が常設展示されています。筆筒(たんす)や長持(ながもち)、火鉢(ひばち)やバンドコな

どの暖房具。カマドや五右衛門風呂、蜀台、桶や樽などの生活用具。また「山田の小屋」には、牛に引かして田を耕した唐鋤(からすき)、前掛(まえかけ)や手甲(てっこう)、蓑(みの)などの農作業着。昔の生活を体験…。これらの展示は、明治、大正、昭和にかけての生活を想起させます。訪れた人たちが

### 明治・大正・昭和の生活用具 3000点を展示

らは「昔は生活が苦しかったけれど、のんびりして楽しかった」「夕食時には家族の楽しい話が聞こえてくる。一家団欒があったなあ」などの会話を…。館内には、教育委員会が三年がかりで調査してまとめた「前挽鋸(まえびきのこ)」「県有民族文化財」も展示されています。柚川流域はかつて板を製材する大型の縦挽き鋸の一大生産地でした。前挽鋸は、木挽き職人のシンボルとされ良質の鋸を持つことは誇りでもありました。製造元には、木挽き職人の技や体力に適した鋸づくりを力尽くした当時の記録も残されています。

「ふれあいの館」には、市内小学校の子どもたちが課外授業で訪れ、昔の暮らしを体験しています。

### 編集後記

▶ 亥年がスタートして1ヶ月。今年も広報委員一丸となって、皆様に親しまれる広報づくりに尽くして参ります。ご愛読とともにご意見お待ち申し上げます。

▶ 昨年の世相を表す漢字は、生きとし生けるものの根元である「命」でした。残念ながらその裏には、いじめによる自殺で絶たれた命や、虐待、飲酒事故で奪われた命などの痛ましい事件がありました。ひとつしかない命、今年は命が生きられ、生きる年にしたいものです。

(広報委員 木村 泰男)

新築なった小原小学校多目的ホールの正面の壁に、教育後援会から大きな美術陶板(1.2m×4.5m)が寄贈されました。

### 小原小に陶板を寄贈



イラストの目